

理科

教科の重点目標 科学的な考え方を身につけ、身近な事象に関心を持たせる。

	学習指導に関する現状と課題	具体的な授業改善策	補充・発展的な学習指導の計画	検証（成果と課題）
第2学年	<p>◎考える力を伸ばす観点</p> <ul style="list-style-type: none"> 既習事項と現在学習している内容を切り離して考えてしまい、規則性を導き出すことが苦手な生徒が多い。 <p>◎習熟の程度に合わせる観点</p> <ul style="list-style-type: none"> 実験・観察の目的が明確でなく、作業だけに没頭している生徒がいる。 計算での学力の差が激しい。 <p>◎生徒による授業評価からの観点</p> <ul style="list-style-type: none"> 多くの生徒は授業についていくことができている。 	<p>単元の最初に復習を導入で取り入れることで、既習事項との関連性を持たせる。また、他教科や実生活とのつながりも意識して授業を進める。</p> <p>・実験・観察のポイントを明確にし、授業時間内で全生徒がレポートを完成させられるようにする。早く終わってしまう生徒に関しては、実験補助に回ってもらうことで、さらなる知識の定着を図る。</p> <p>・演習問題を多く取り入れるとともに、発展的な問題を準備し応用力も身につけさせる。</p> <p>・身近な教材を用いて生徒の興味・関心を高めるとともに、実生活における活用や論理的な思考・判断の基礎を身に付けさせる。</p> <p>・課題の前に予想や仮説を立てることで、見通しをもった学習につなげる。</p>	<p>・小テストを章毎に取り入れることで、知識の定着と理解度の向上につなげる。</p> <p>・単元ごとにまとめプリントを用意し、知識の定着を図る。</p> <p>・計算問題については発展問題を含め、演習を多く取り入れる。</p> <p>・生徒同士で教えあうことで、学習内容の確認をおこなう。教えられる生徒だけではなく、教える生徒も内容を整理しながらすすめることができる。</p> <p>・身近なものでも中学校の既習内容を用いた技術は多い。ただ、複雑に様々な機能が付いていたり、外観から構造が見えないので、生徒はその関係性を理解できないでいる。ヒントを出したり中身を見せるなどして、現在身近に使われている技術と教科書の内容をつなげていく。</p>	